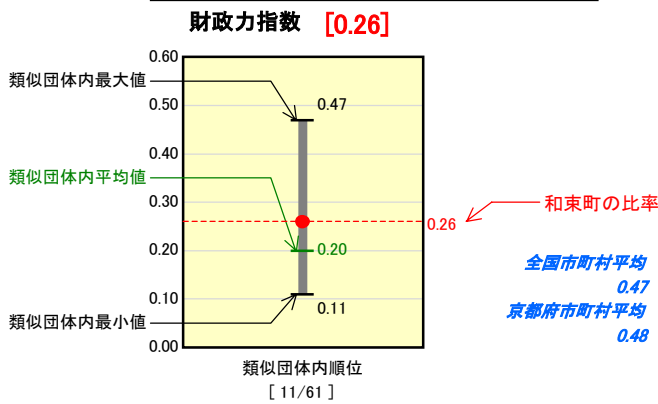


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

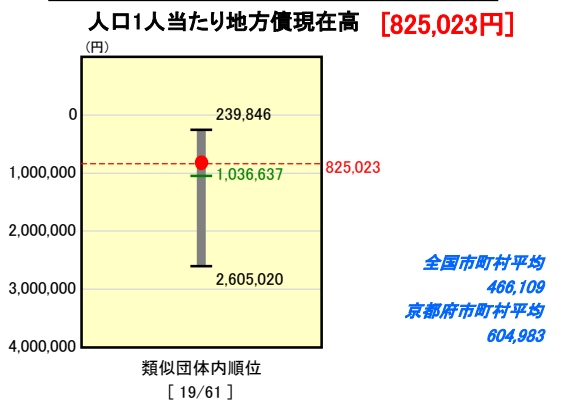
## 京都府 和束町

人口	5,353人(H17.3.31現在)
面積	64.87 km <sup>2</sup>
歳入総額	2,778,385千円
歳出総額	2,730,946千円
実質収支	46,312千円

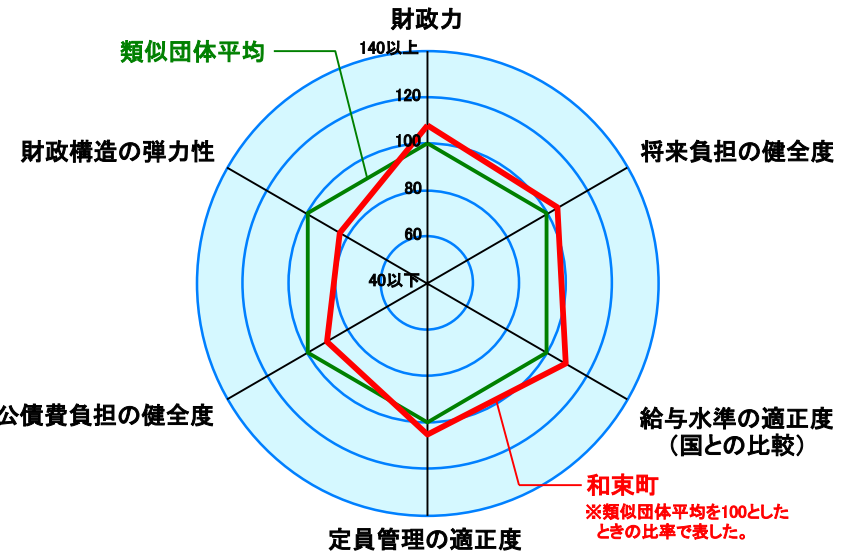
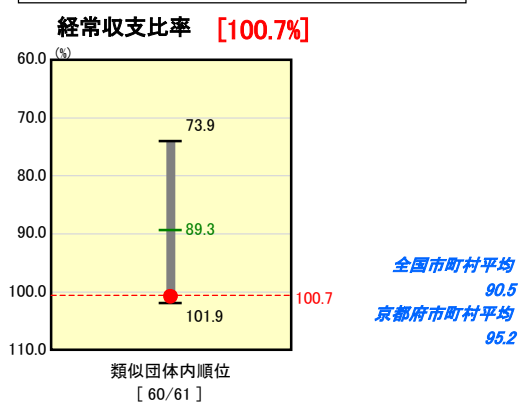
### 財政力



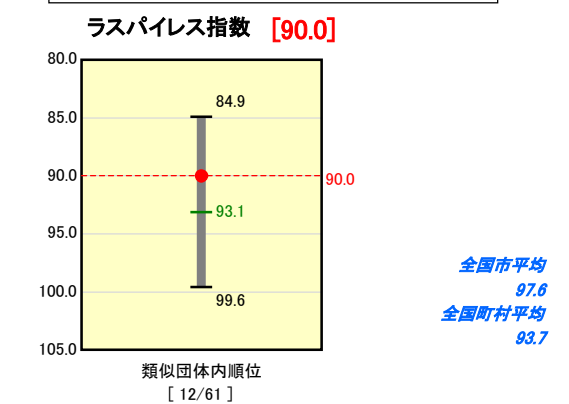
### 将来負担の健全度



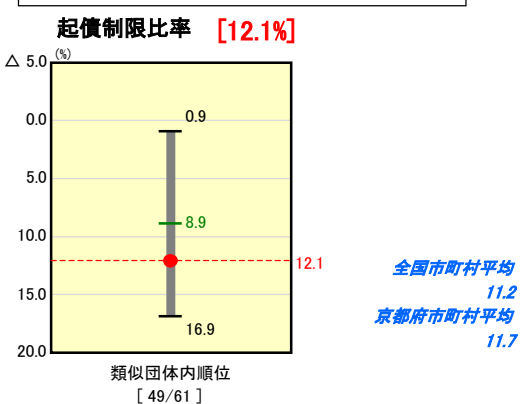
### 財政構造の弾力性



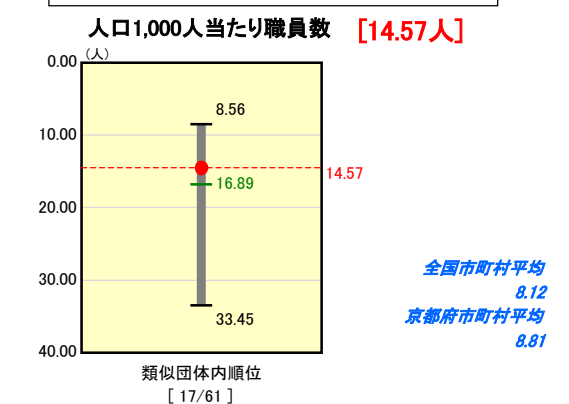
### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

**分析欄**

【財政力指数】  
類似団体平均値より上回ってはいるが、本町においては人口の減少及び高齢化が著しく、人口減少は10年間で15.6% (922人)、高齢化率も28.3%と極めて高いことから、今後税収の落ち込みが予想され、極めて厳しい財政状況である。歳出削減のため、平成13年度より5年間で13人を削減したところであるが、今後も引き続き、退職者不補充による人件費の削減や事務事業の見直し等を進め、行財政の効率化に努める。

【経常収支比率】  
一部事務組合に対する負担金、特別会計への繰出金及び高齢者福祉費の負担で3割以上の比率を占めており、増え続ける経常経費が財政を圧迫している。今後、人件費の削減等行財政改革に取り組み、経常経費の削減に努める。

【起債制限比率】  
効率的な事業計画にしたがって投資的経費を抑制することにより、地方債発行額の上限を年間元利償還額の70%程度に抑え、公債費負担の健全化を図る。

【人口1人当たり地方債現在高】  
普通会計ベースでは、類似団体平均と比較して少ない額ではあるが、簡易水道事業・下水道事業等公営企業会計に係る公債費が増加していることから、今後、使用料金を見直し受益者負担の適正化を図るなど、繰出金の抑制に努める。また、一部事務組合に係る地方債残高も多額に及び、その対策についても急務である。

【ラスパイレズ指数】  
平成14年度より調整手当を全廃するなど、各種手当での見直しを実施してきた結果、類似団体平均に比べ低い水準となっている。今後も引き続き、職員の給与カットを含めた人件費の抑制を図り、給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】  
平成13年度より職員補充を最小限に抑え、これまでに13人の職員を削減したところである。平成20年度までに、さらに10人以上の削減を目指し、定員管理の適正化を図る。